

子育て

8月

支援センター情報

開館時間 9:00～11:30
13:00～16:00

すみれひろば（四日町 234-1）

☎ 055-949-0823

たんぼひろば（三福 295-1）

☎ 0558-76-6006

市役所保健福祉・こども・子育て相談センター

☎ 0558-76-8010



11日 (火)	おはなし会 10:30～10:45
25日 (火)	誕生日会 8月生まれ、要予約 10:30～11:00 おはなし会 11:00～11:20
28日 (金)	色水遊び 10:00～11:00 色水遊び 10:00～11:00
31日 (月)	身体測定

土曜開館日

1日(土)・15日(土)

8日(土)・22日(土)

土曜開館の翌月曜日は
振替休館日

3日(月)・17日(月)

10日(月)・24日(月)

子育てしながら資格を目指すチャレンジ応援事業
（保育資格取得応援事業） 参加者募集

子育て経験を生かした再就職・再チャレンジ支援の試みのひとつとして、保育士資格の取得を目指す人を対象に、保育士試験対策講座を開催します。（託児付・受講料無料）

時 9月25日（金）、10月30日（金）、11月16日（月）
【共通】 9時15分～12時

所 三島市本町タワービル4階
子育て支援センター
保育士資格取得を目指す人50人（子どものいる保護者の人を優先します）

対 市役所保健福祉・こども・子育て相談センター
伊豆長岡温泉旅館協同組合

主 静岡県健康福祉部こども未来課
市役所保健福祉・こども・子育て相談センター
伊豆長岡温泉旅館協同組合

方 ※少人数でも開講します。
8月3日（月）から31日（月）までに市役所保健福祉・こども・子育て相談センター（大仁庁舎）へ受講申込書を提出してください。
※申込書は市役所保健福祉・こども・子育て相談センター窓口で取得できます。

期 8月3日（月）から31日（月）

所 市役所保健福祉・こども・子育て相談センター

料 無料（託児あり・要予約）

問 母子家庭等就業・自立支援センター
☎ 054（254）1191

相談

精神保健福祉総合相談

家族の様子がおかしい、病気ではないか。病院に通院しているが、早く社会復帰したい。眠れない。今かかっている病院以外の医師の意見を聞きたいなど、精神保健福祉に関する相談なら何でもお受けします。

時 8月20日（木）
所 葦山福祉・保健センター
期 8月17日（月）
問 東部健康福祉センター福祉課
☎ 055（920）2087

ひとり親家庭のための
出張個別相談会

就業相談や、弁護士による親権や養育費などの相談ができます。

時 8月26日（水）
所 熱海市いきいきプラザ7階
多目的室（熱海市中央町1-25）
時 8月21日（金）
所 清水町役場別館2階 東会議室
（清水町堂庭210-1）
開 清水町 9時30分～16時
催 電話で申込（先着順）
方 無料（託児あり・要予約）
料 母子家庭等就業・自立支援センター
問 ☎ 054（254）1191

巡回交通事故相談

県交通事故相談所の相談員が、交通事故に関するさまざまな相談に応じます。

時 8月26日（水）10時～15時
所 市役所大仁支所 会議室
料 無料
※相談を希望する人は、事前に電話でご予約ください。

問 市役所地域づくり推進課
☎ 055（948）1412

普通救命講習Ⅲ
一般公募

小児・乳児・新生児に対するAEDトレーナーを使用した心肺蘇生法、止血法などの講習を行います。

時 9月12日（土）9時～12時
所 田方消防本部3階 研修室
函南町、伊豆市、伊豆の国市の在住者または在勤者 50人（先着順）
料 無料
期 8月15日（土）から9月5日（土）
方 各消防署で申込手続きを行ってください。

※なお、状況により実施日を変更・延期する場合があります。

問 田方中消防署
☎ 0558（76）0119
問 田方北消防署
☎ 055（978）0119

介護職員初任者研修
（旧ヘルパー2級資格）
受講者募集

誰もが住みやすい地域を作るために、介護の技術や知識を身につけませんか。（市から受講費の一部助成あり）

時 【通信】

伊豆の国満喫券を利用できる
事業所募集

市内の宿泊施設に宿泊した人のみ購入できるプレミアム付商品券「伊豆の国満喫券」が9月1日（火）から発売されます。この満喫券を販売する宿泊施設や利用できる商店などを募集しています。登録して、市内の消費を盛り上げましょう。

満喫券詳細

販売開始 9月1日（売切れ次第終了）（販売総数10,000セット）
有効期限 平成28年2月29日まで
販売場所 登録宿泊施設
利用場所 利用登録施設・商店
問 伊豆長岡温泉旅館協同組合
☎ 055（948）1666

問 市役所環境政策課
☎ 0558-76-8002

蚊の発生に注意！



デング熱やマラリアなど、蚊が媒介する感染症の流行を防ぐためには、日ごろから感染症を媒介する蚊の発生を抑え、蚊に刺されないようにすることが大切です。

～蚊を増やさないようにしましょう～

蚊は、住まいの周囲にある水たまり（雨ざらしのバケツ、屋外に放置された空き缶、植木鉢の皿に溜まった水など）に卵を産み付けます。蚊の発生を完全に止めることはできませんが、身の回りにある蚊の発生源を無くすことで、蚊を増やさないようにすることができます。

対策

- ・屋外にある水がたまりやすい、不要なものは撤去する。
- ・使用中の容器は雨のあたらない場所に置くか、伏せておく。
- ・くみ置きの水は週1回水を取り替える。

日本では

昨年8月、約70年ぶりに国内でデング熱の感染者が出ました。こうした感染症は、現在、国内では流行していません。しかし、人口密度の高い日本では、侵入した場合に大流行することが懸念されています。

～蚊に刺されないようにしましょう～

緑の多い木陰や蚊の発生しやすい場所に立ち入る際は、蚊に刺されないよう気を付けてください。

対策

- ・長袖シャツ、長ズボンなどを着用し、肌を露出しないようにする。
- ・素足やサンダル履きはできるだけ避ける。
- ・必要に応じて虫よけ剤などを使用する。

屋内への蚊の侵入は、網戸や扉の開閉を極力減らし、蚊取り衛生品を適宜利用して防ぎましょう。

